ふれあうナカマ 育む 見守る　学校は地域と共に歩んでいます。宮城県内の小中学校の様子、自慢できることを、児童・生徒が紹介します。　育む 見守る ふれあうナカマ

わが校 わがまち スクール通信

次回は
石巻小（石巻市）
増田中（名取市）

矢本一中

「心の朝錬」伝統受け継ぐ

これがイチオシ

20年続くトレーニング

私たちの学校には「一中サーキット」という長年続くトレーニングメニューがあります。内容は①抱え込みジャンプ②腕立て伏せ③背筋④腹筋⑤もも上げです。主に体育の授業で行い、学年ごとに回数も決まっています。3年間やり遂げると、合計回数はなんと1万8900回！　基礎体力の向上につながっています。中総体や新人戦で良い結果が残せるのも一中サーキットのおかげかも。20年以上続いている一中サーキット。今後も一中生の体力向上のために続けていきます。

学校名　東松島市立矢本第一中学校
所在地　東松島市小松上浮足194
創　立　1963年
電　話　0225(82)2146
校　長　安倍　良博
生　徒　544人

部活ごとに清掃活動

こども新聞をご覧の皆さま、こんにちは。東松島市立矢本第一中学校の小柳侑大です。僕は生徒会長としていろいろな活動を行っています。このうち「心の朝錬」について紹介します。

毎月15日と30日、部活動ごとにそれぞれの活動場所を清掃し、ごみを拾う学校の伝統の一つです。活動には大切な心が二つあります。

一つ目は感謝の心。毎日使っている場所を、先輩方が今まで大切に使ってきてくれたことに感謝して取り組んでいます。

二つ目は伝統を受け継ぐ心です。伝統はその学校の個性だと、僕は思っています。先輩方が残してきてくれた素晴らしい個性を大切にし、次は後輩に受け継いでいこうと思います。これからもこの学校がより良くなるような活動や呼び掛けを行っていきます。

新型コロナウイルスの影響で、今まで通りに活動するのは難しくなっていますが、学校の個性を受け継ぐ心を大切に、今ある環境でベストを尽くしていこうと思います。

心の朝錬で清掃活動に取り組む生徒たち

編集委員　小柳侑大、冨永香蓮、及川千尋（2年）
指導教員　佐藤昂、長沼瑞葵

感謝の気持ちを体育館に

コロナ下のメッセージ

木町通小学校では毎年度、児童会のスローガンを話し合いで決めます。この3月までの本年度は「いいきまち」。このスローガン達成のため、三つの活動を行いました。

一つ目は「挨拶ビンゴカード」です。挨拶に関する目標を達成すれば色を塗ることができ、ビンゴを目指せるようにしました。カードを使うことで「良い挨拶が増えている」と実感しています。

二つ目は「ふわふわ言葉カード」の掲示です。各学級に心が温まる言葉のカードを書いてもらい、学校のキャラクター「きまっちー」のまわりに張りました。

三つ目はメッセージ。本年度は新型コロナウイルスの影響で、地域の方に直接、感謝の気持ちを伝えられません。計画委員会を中心にどうすれば伝えられるかを考えました。地域や児童館、大変な思いをされている病院の方々に向け、全校でメッセージを作り、体育館の窓に掲示しました。

木町通小では、このような取り組みを通し、より良い学校になるように活動しています。

地域の方や新型コロナで苦労されている病院の方々への感謝の気持ちを体育館の窓に掲示しました

編集委員　小山幸乃、藤井志織、松田芽依（6年）岡田悠輝、丸尾萌百音、大宮楓梨、中村瑞、野田知江（5年）太田美春（4年）　指導教員　林涼子

木町通小

これがイチオシ

隣の公園 自然いっぱい

木町通小学校の「イチオシ」は、学校のすぐ隣にある「北三番丁公園」です。ここにはたくさんの自然があります。低学年は生活科の授業で、季節ごとに探検に行きます。3年生は公園にある木を調べ、3年生の終わりごろに名前を記した樹名板を作り、木に付けて名札のようにします。

写真クラブも生き物や自然の写真を撮るため、北三番丁公園に行きます。上の写真はそのときの作品です。木町通小は街中なのに、たくさんの自然に囲まれている学校です。

学校名　仙台市立木町通小学校
所在地　仙台市青葉区木町通1の7の36
創　立　1873年
電　話　022(223)3480
校　長　花渕　浩司
児　童　477人